

# 三方原社協＆ないろの会だより

No.113-2

平成 21 年 10 月 26 日

三方原地区社会福祉協議

## 「がんばる地域応援事業」

ないろの会・三方原社協共催

### 講演会開催

日時 平成 21 年 7 月 8 日(水) 19 時～20 時

場所 三方原公民館 1F ホール

### 「青少年問題と地域活動について」

講師 特定非営利法人浜松オープンスクール

理事長 小 笹 貴道氏



小 笹 先生講演中

講演会には 130 人が出席され、青少年問題の現状を生々しく実例を挙げて、青少年の問題の実情を語られる先生の話を熱心に聴講いただきました。



ないろの会 会長挨拶

出席者の皆さん

## 子育て生活支援部会 託児支援部会

学校の参観会等に出席する父兄の皆様が行事に専念出来るように託児を行っています。大変感謝されています。父兄のみなさま託児はお任せ下さい経験豊かな託児ボランティアがお待ちしています。



三方原小・初生小  
豊岡小各学校を通  
して父兄に PR を  
しています。  
昨年実施 延 14 回

# 敬老会開催

三方原地区9月13・20・21日

明るく楽しくがモットーのみなさん「きょうも、楽しんで下さい」

敬老会 会長あいさつ



好きな人は別室で



若い女性の お祝い演技



ハイ、答えは





豪華弁当  
出演ありがとうございました  
来年もお願いします。



大勢の出席者です

熱心に演技に見入る方々



### 主催者一言コメント

|      |  |                 |
|------|--|-----------------|
| 根洗町  | 天気に恵まれ敬老の日お年寄りの皆様には楽しく過していただきました       | 三方原地区 18町       |
| 大原町  | 幼稚園児、地元の方の演芸で盛り上がりました、食事少し豪華にしました      | 74歳以上 2.968人    |
| 豊岡町  | 演芸のなつかしのメロディーはピアノ生演奏で歳を忘れて大合唱、大満足      | 三方原地区人口 45.500人 |
| 三幸町  | 婦人部との全員合唱は大変よかったです、来年は他の事も考えたい、出席 UP も | 74歳以上 6.5%      |
| 初生町  | 弁当の持帰りが多く、会場への出席率が悪い、次年度は向上に努めたい       | 77歳 242人        |
| 東三方町 | 74歳から95歳まで多数の皆さまが参加されました、良かったと思います     | 88歳 77人         |
| 三方原町 | インフル対策で手の消毒実施、子供の屋台あはやし初披露、出席多数でした     | 99歳 6人          |
| 清 水  | 他の自治会はどのような内容か参考にして、来年も良い敬老会にします       |                 |
| 百 園  | 毎年楽しみにしている参加者が多数ありました。開催者として嬉しいです      |                 |

# 三方原の 福祉施設

## 紹介シリーズ 7

障害者自立支援施設 トータルケアセンター  
浜松市北区三方原町 2041-3 Tel 053-414-5202



平成18年4月1日に三方原の地区に浜松市の補助金事業所として「障害者小規模事業所トータルケアセンター グレース工房」が誕生しました。平成15年6月に聖隸さんのように教会が母体となり、障害者の余暇支援として月1回のお菓子教室を開催したり、週4日5人ぐらいの仲間が集まり皮細工をやったりしていました。次第に仲間が増え、ボランティア運営で15人ぐらいが集まり軽作業をしていました。平成19年4月1日から静岡県の事業指定を頂き、障害者就労継続支援・生活介護小規模多機能施設として新たな取り組みをし、仲間も従たる事業所を含め、60人と増えました。グループホームでは16人が生活しています。幸町のグレースカフェは、カレーレストラン、初生のアピタグレースでもカレーハウスを運営しています。

<トータルケアセンターのコンセプト一部> 全部を知りたい方へ ぜひ来てください！  
●ともに愛し合い支え合う場:様々なハンディを負った仲間がともに助け合い、支え合う場として、知的・精神・身体のハンディを持つ仲間がともに生き、支え合っています。日課で日記付けがあるのですが、知的の人の日記付けを精神の仲間が助け、知的の仲間が身体の人の車いすを押します。精神の仲間は、頼られることによって次第に自尊心を取り戻します。今まで話せないとと思っていた知的の仲間のお母さんが、「最近、家事をしていると、後ろでうるさくて。」とうれしそうに話してくれました。コミュニケーション能力が飛躍的に伸びます。卒業生があまりに生き生きやっているのを見て、支援学校の先生方40人程が見学に来ましたが。そんなことが日常的に起きています。

●地域に開かれた交流の場:開設当初、喫茶店と思った作業員の方や、ご婦人が自然と入ってきて、「コーヒー2つ」とオーダーされました。こちらもコーヒーをお出しし、談笑に加わって初めて喫茶店でないと気付きました。開かれた場づくりを目指しています。最近は、北星中学や付属中学の生徒さんが来てくれます。また、自慢のカレー弁当や天然天日塩を買いに来てくれる方も増えました。地域密着を目指し、最近、都田で採れた蜂蜜の販売や畠も始めました。見学でも、人生相談でも、ボランティアでも大歓迎です。ぜひ気軽にお出かけ下さい。



中学生との交流会



カレーの移動販売